

前平公園再整備 基本構想（概要版）

○策定 平成29年11月
○担当 スポーツ振興課

目次

○前平公園再整備のコンセプト	3
○前平公園再整備のキーワード・整備方針	4
○前平公園再整備のエリア・ゾーン	5
○エリア・ゾーン別整備方針	6～11
○前平公園再整備の概算工事費	12
○今後の検討課題	12
○前平公園再整備基本構想の策定経過	13

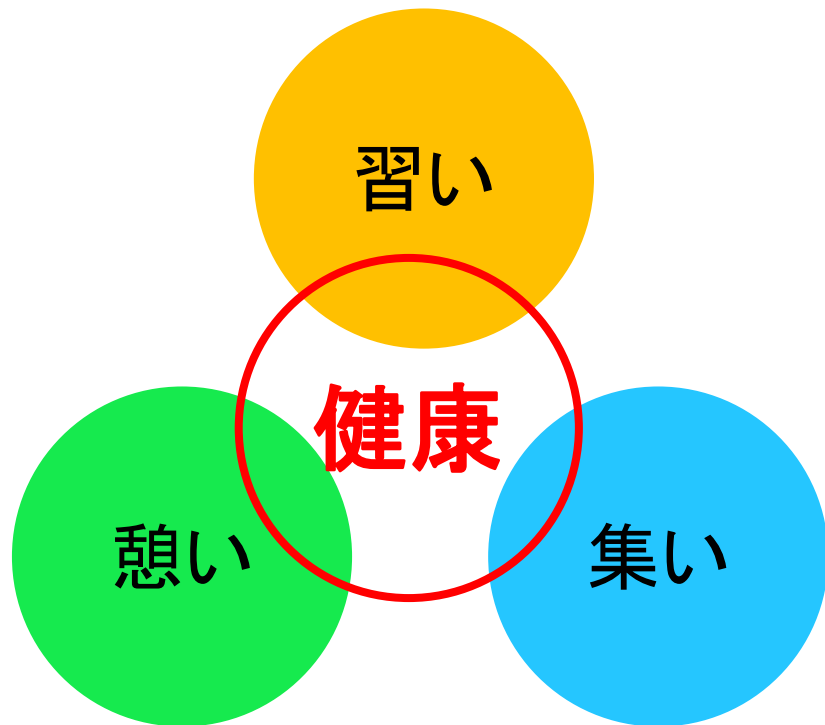
前平公園再整備のコンセプト

魅力ある自然を生かした 「多世代が気軽に訪れる健康づくりの場」

近年、公園や緑地、広場等のオープンスペースでは、本来の公園機能の他、景観(都市の潤い)や環境(生物多様性等)、防災や体験・学習・交流、にぎわいなど、多面的な機能が求められています。一方、少子高齢化に伴う将来の財政負担増加など社会情勢により、公共施設全体の維持管理のあり方が課題となっています。

前平総合公園の再整備においては、単なる老朽化した公園施設のリニューアルにとどまらず、将来の全市的な前平公園の利活用の活性化を促すため、「健康」をテーマに既存のストックを活用(老朽化施設の健全化)し、新たな魅力を付加することで、多世代にわたる市民が訪れ、健康なカラダとココロを育てる「多面的な健康づくりの場」となることを目指します。

前平公園再整備のキーワード・整備方針



●習い(市民の習いの場となる公園)

ヨガ教室、健康教室、保育園の野外活動、学校の課外活動などの場として積極的に活用し、市民の「習い」に役立つ公園とする。

●集い(多世代が集い交流できる公園)

既存の特定スポーツ施設だけではなく、ウォークやジョギングなど多世代が利用できるレクリエーション的なエリアを設けることで、市民が交流できる公園とする。

●憩い(市民の憩いの場となる公園)

自宅や職場と離れた、心地の良い第3の場所「サード・プレイス」として、市民が気軽に訪れることができる場を提供することで、コミュニティを育み、市民の健康なココロを育てる公園とする。

●方針1 各エリアの機能を明確にして、市民の多様な利用ニーズに応える

●方針2 民間活力導入、ストック活用により、公園の魅力向上・再整備・維持管理コスト(LCC)を抑制する

●方針3 既存広場を活用し、雨水流出抑制や避難空地を確保し、防災機能を向上させる

前平公園再整備のエリア・ゾーン



エリア・ゾーン別整備方針(中央エリア 1/3)

エントランスゾーン

公園のメインエントランスとして整備する。

※メインエントランスを中心に各エリアへのアクセスの拠点として充実するほか、公園の情報発信ができるような「公園の顔」として整備する。

遊具広場ゾーン

老朽化した遊具を、集客力の高い魅力ある遊具にリニューアルする。

※高学年、低学年、幼児用遊具のほか、水遊び場などをゾーニングし、利用する子どもたちの体や心の発達を促す、安全で利用しやすい遊具広場として整備する。

エリア・ゾーン別整備方針(中央エリア 2/3)

芝生広場ゾーン

現状の形状を生かし、災害時に役立つスペースを確保する。

※景観と調和した彫刻物周囲の安全対策をする。

多目的広場ゾーン

現在の形状を生かし、防災機能の向上を図る。

※下流域の雨水流水を抑制するため、現在の形状を生かし、表面貯留による施設を整備する。

エリア・ゾーン別整備方針(中央エリア 3/3)

野球場ゾーン

公式戦に対応できるグラウンド拡張と、施設の老朽化対策等を検討するとともに、ライナー性飛球に対する公園利用者の安全対策を講じる。

※既存球場範囲内において公認野球規則に定めるグラウンドの拡張を検討する。また、バックネット裏観客席の老朽化対策と併せ、控室への動線確保、倉庫設置、排水対策を検討する。さらに、ライナー性飛球に対する公園利用者の安全を確保するため、防球ネット等の対策を講じる。

御手洗池ゾーン

老朽化した施設を改修する。

※老朽化したショウブ園デッキやベンチなどを改修するとともに、アクセス園路や池を一周できるバリアフリー動線を整備する。

エリア・ゾーン別整備方針(西エリア)

民間活力導入検討ゾーン

市民プールは除却し、その跡地を、フィットネス施設を想定する「民間活力導入検討用地」に位置づけ、民間事業者の参入の可能性を検討するとともに、西エリア・中央エリア間の歩行者の安全対策を検討する。

※民間活力導入の可能性を検討するにあたり、PRE(公的不動産)活用事業を含めたPPP(公民連携)／PFI(公共サービスを民間主導で行う)導入可能性調査等を行う。このため、諸条件整理や事業の枠組みの検討、VFM(一定の支払いに対する最も価値の高いサービス提供)の算定、サウンディング型市場調査を行う。

テニスコートゾーン

老朽化した施設を補修するとともに、テニスコートアクセスルートのバリアフリー化を検討する。

※人工芝の張替やナイターの照明灯とシステムを改修し、トイレ等を修繕する。

エリア・ゾーン別整備方針（全体エリア）

建築施設

老朽化した管理棟とトイレを改修する。

園路

園路のバリアフリー化を進める。

※急勾配箇所や大きな段差が生じている箇所など、通行上支障がある部分をバリアフリー化改修し、自然系の園路で地形上、バリアフリー化が困難な個所は、通行円滑化対策を行う。

駐車場

イベント時などの駐車場不足を解消するため、西エリア北側の民間駐車場を確保するとともに、芝生広場北側の既存駐車場を改修する。

エリア・ゾーン別整備方針（東エリア）

畜産研究所用地ゾーン 意見概要

◆当該地の利用方針は未定であるため、本エリアでは市民意向を踏まえ、公園として活用した場合のイメージまでに留めています。

「健康」をテーマに、現地形を生かした、社会情勢の変化に対応できる汎用性の高い公園利用を想定する。

※現在の道路を活用し、ジョギングやウォーキング兼用の周遊動線を確保しながら、頂上部は壮大な花の景観を眺める展望台や丘を整備し、小段部分は農や食体験ができる「お花見ガーデン」と「アスレチックエリア」の整備を想定する。

※WSなどでは、市庁舎や可茂消防署などとしての土地利用の意見も出された。

■前平公園再整備の概算工事費 1,506,000千円

※ただし、畜産研究所用地ゾーンの工事費は含んでいません

■今後の検討課題

- 市が進めている他事業との調整や連携の検討と併せて、前平公園再整備の期間と優先順位を検討
- 事業費用の詳細を検討
(費用対効果、事業費の縮減・平準化、財源確保、整備手法)
- 整備における技術的課題の把握と検討
- 詳細に計画するうえでも、市民意向に沿った公園再整備の検討
- 前平公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図るため、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公園施設の設置とPark-PFI制度導入の検討

※Park-PFI制度→当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の整備、改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」

前平公園再整備基本構想の策定経過

- h28.09 前平公園に関連する計画の整理(5次総ほか7計画)
 - h28.09 市民意向調査(結果の整理と分析)
 - h28.10.12・12.09 専門員による現地調査(現況の課題整理)
 - h29.05.23 職員検討委員会(進め方の確認、意見聴取)
 - h29.06.04 市民WS(現地視察、意見聴取)
 - h29.06.22 体育協会常任理事会(理事会の進め方、意見聴取)
 - h29.06.27 体育協会理事会WS(意見聴取)
 - h29.07.05 職員検討委員会(これまでのまとめ、意見聴取)
 - h29.07.09 市民WS(フィードバック)
 - h29.09.08 体育協会理事会(フィードバック)
- ※その他、市役所内部での調整協議